

発電所だより 2024年4月号



《女川原子力発電所2号機の再稼働に向けて、全力で取り組んでまいります》



女川原子力発電所長
阿部 正信

新年度を迎え、地域の皆さまにおかれましてはますますご健勝のことと存じます。

現在、女川原子力発電所2号機の安全対策工事について、安全確保を最優先に、今年6月の完了を目指し、全力で取り組んでいます。工事は終盤に入ってきており、火災防護対策工事を中心に計画どおり進捗しています。

また、強化した設備を扱う作業員のスキル向上にも継続して取り組んでおり、さまざまな状況を想定した訓練を繰り返し実施しています。

安全対策工事完了後、発電を再開する再稼働時期については今年9月頃を予定しています。世界一安全な発電所を造り上げ、皆さまに電気をお届けして地域と社会の発展に貢献してまいります。

発電所の運営にあたりましては、地域の皆さまのご理解が何よりも重要と考えていますので、今後も分かりやすく丁寧な情報発信と地域の皆さまとのコミュニケーションの充実に努め、より信頼いただける発電所となるよう取り組んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

《女川原子力発電所に新しい仲間を迎えました》



当発電所の仲間として、新入社員11名を迎えました。

新入社員には、情熱や向上心を胸に、発電所はもとより地域のこれからを担い、活躍してくれるものと期待しています。原子力発電に関する業務知識・技能の習得はもちろんのこと、地域に貢献できる人材となるよう、しっかりと育ててまいります。



発電部 発電管理グループ
たけやま そうた
武山 颯太(東松島市出身)

今年予定している再稼働や、その後の発電所の運営に携わり、電力の安定供給を担う発電所員として、一日も早く一人前になれるよう励みます。



発電部 発電管理グループ
さとう ふうあ
佐藤 楓彩(美里町出身)

熱意や誠意を持ち、地域の皆さまに貢献できるよう、一つひとつの仕事を丁寧に行い、着実に成長していきます。



《地域の活動に参加・協力し、皆さまと交流を深めました》

津波伝承 女川復幸男

開催日 3月23日

東日本大震災に伴う津波避難の大切さを伝承する行事に発電所員3名、協力企業従業員8名が参加し、約250mの上り坂を懸命に駆け上がりました。



「逃げろ!」の掛け声で一齐スタート

おながわ春のまつり2024

開催日 3月24日

おながわ春のまつりのボランティアスタッフとして発電所員9名が参加しました。テント設営やエコステーションの運営を通じて交流を深めました。



おながわ春のまつりの様子



エコステーションを運営

オナガワプラモ作戦2024

開催日 3月23日~24日

おながわ春のまつりに合わせ、女川原子力発電所地域総合事務所にて初となる模型展示会オナガワプラモ作戦2024(主催:東北電力株)を開催しました。

宮城県をはじめ秋田・岩手・山形・福島県各地の模型作者の作品を展示し、2日間で延べ758名にご来場をいただきました。

今後も地域の皆さまにお楽しみいただけるイベントを企画・開催してまいります。



展示されたプラモデル作品

女川町の魅力を発信する動画を公開しています

当社では「マカプウ隊長と行く!女川見たい!食べたい!遊び隊★」を当社公式YouTubeチャンネルで公開しています。

第6弾として、津波伝承 女川復幸男やオナガワプラモ作戦2024などを紹介する動画を公開しています。ぜひご覧ください。



動画の視聴はこちらから▶



《設備・機器の検査、各種訓練を継続して実施しています》

安全対策工事で設置した設備・機器の構造や機能の検査などを継続して実施しています。また、数多く配備している設備を適切に扱えるよう、作業員のスキル向上を目的に、さまざまな訓練を繰り返し実施しています。



放水砲の機能検査

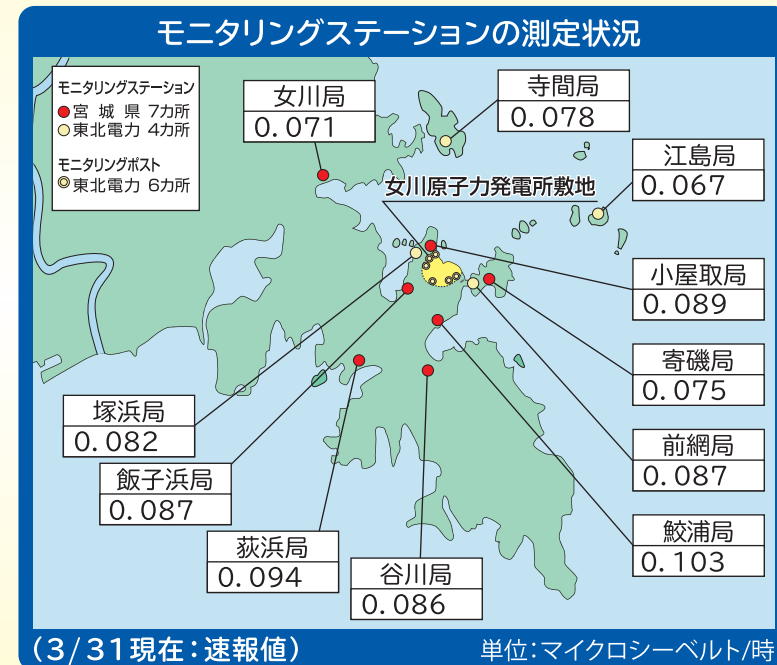


熱交換器ユニット設置訓練

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト^{※1}やモニタリングステーション^{※2}で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2024年3月31日の測定値は、最大で0.047マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値^{※3}

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	測定値
2011年3月11日	0.027~0.064
〈地震発生後最大値〉	
2011年3月13日	1.8~21 ^{※4}
〈地震発生から2年と至近2年の(4/1)値および前月値〉	
2012年4月1日	0.063~0.098
2013年4月1日	0.055~0.076
2022年4月1日	0.033~0.045
2023年4月1日	0.034~0.046
2024年3月1日	0.033~0.057
2024年3月31日	0.032~0.047

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。



再生紙を利用しています